

企画展プレスリリース

「旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

1 展覧会名 「旅するチバラキ ～連作《水郷めぐり》の全貌～」

2 会 期 令和5年2月10日[金]～令和5年4月23日[日]

休 館 日：月曜日

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

※会期中、一部展示替えがあります。前期＝3月19日[日]まで、後期＝3月21日[火・祝]から

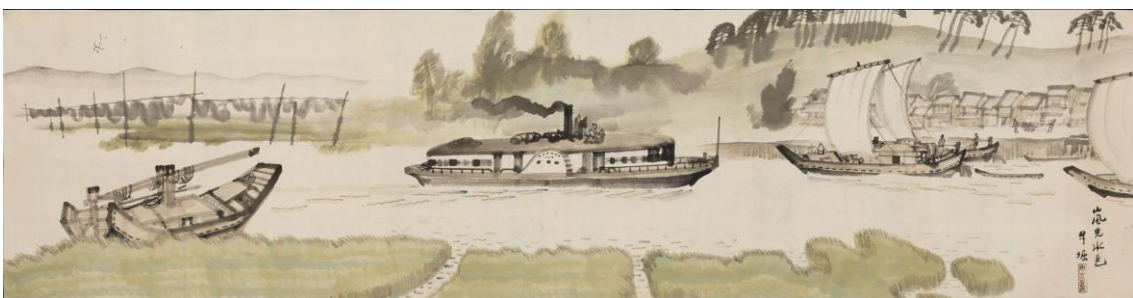
3 展覧会概要（資料2～3ページ参照）

大正6年(1917)に4人の日本画家、飛田周山(ひだ しゅうざん、1877-1945)、水上泰生(みずかみ たいせい、1877-1951)、山内多門(やまうち たもん、1878-1932)、勝田蕉琴(かつた しょうきん、1879-1963)によって描かれた連作《水郷めぐり》は、利根川流域から茨城県南部の旅行をもとに生まれた作品です。画家たちは道中各所で写生し、それぞれ幅六尺(＝約180cm)前後の横長の画面に仕上げました。全体が水郷の湿潤な空気を伝えるような、墨の描写を主とした文人画調の連作となっています。

一連の作品は旅を共にした小池北風の紀行文とともに翌大正7年、書籍『水郷めぐり』(美術研精会)として出版され、評判となりました。さらに大正8年には、前述の4作家に加えて野田九浦(のだ きゅうほ、1879-1971)らが参加し、小田原、熱海周辺の旅行記《半嶋めぐり》が作品化されています。

本展覧会は、現在、所在が確認できる《水郷めぐり》31図(個人蔵)を一堂に公開する、およそ100年ぶりの機会となります。大正期の利根川流域、茨城県南部の風景を、旅情とともに楽しみください。

4 出品作品（資料4ページ参照）



飛田周山《嵐光水色 牛堀》

大正6年(1917) 個人蔵

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:井野 功一(いの こういち)/広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/)

1 展覧会名 「旅するチバラキ～連作《水郷めぐり》の全貌～」

2 会期 令和5年2月10日〔金〕～令和5年4月23日〔日〕

休館日：月曜日

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

※ 会期中、一部展示替えがあります。前期＝3月19日（日）まで、後期＝3月21日（火・祝）から

3 会場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室A

4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館

5 入館料

一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円

※()内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方および付添いの方1名は無料

※春休み期間(3月25日、4月1日)を除く土曜日は高校生以下無料

※2月11日(土)は満70歳以上の方無料

6 本展のみどころ

- (1) 連作《水郷めぐり》は、大正7年の展覧会でまとめて公開され、翌年、小池北風^{もとやす}(素康)の紀行文とともに書籍『水郷めぐり』に掲載され出版されました。その後、作品は画家たちの後援者の所蔵となり、以来、まとめて公開された記録がありません。《水郷めぐり》の全貌公開はおよそ100年ぶりの機会となります。
- (2) 現在は陸続きとなった浮島や十六島など、大正6年(1917)の利根川流域から水郷周辺の様子を、旅情とともに楽しんでいただく展覧会です。一流の画家たちが描き留めた美しい水辺の情景、のどかな田園風景など、現在失われてしまった自然豊かな茨城と千葉をご覧ください。
- (3) 今回紹介する四作家は、文展、帝展といった国の主催する展覧会で活躍し、実力を認められた画家たちでした。明治10～12年(1877-79)生まれの同世代で、《水郷めぐり》を描いた当時は38～40歳。充実した時期の画家達が、楽しみながら筆を競った力作となっています。
- (4) 戦前に国の主催する展覧会を中心として活躍した画家たちの作品について、個人の注文などに応じた小品は多く残されているものの、大作の現存数は決して多くありません。四作家による連作《水郷めぐり》は文展、帝展の出品作ではありませんが、画家たちの評価につながる貴重な作例といえます。
- (5) 北茨城出身の飛田周山は、明治36年(1903)に岡倉天心を五浦に案内し、天心の五浦移住、日本美術院移転の契機をもたらしたことも知られています。大正12年(1923)に始まる茨城美術展では、横山大観とともに顧問として審査にあたるなど、茨城の美術振興にも貢献しました。《水郷めぐり》は周山が郷里茨城の魅力を紹介した作品としてお楽しみいただけます。

7 広報文

- (1) 大正6年(1917)に4人の日本画家、飛田周山、水上泰生、山内多門、勝田蕉琴によって描かれた連作《水郷めぐり》は、利根川流域から茨城県南部の旅行をもとに生まれた作品です。画家たちは各所で写生し、それぞれ幅六尺(=約180cm)前後の横長の画面に仕上げました。本展覧会では、水郷の湿潤な空気を伝えるような、墨の描写を主とした文人画調の連作31図を一堂に公開します。今はもう失われてしまった、およそ100年前の利根川流域、茨城県南部の風景を、旅情とともに楽しみください。
- (2) 4人の日本画家、飛田周山、水上泰生、山内多門、勝田蕉琴が、利根川流域から茨城県の南部を旅して描いた連作《水郷めぐり》は、湿潤な空気を伝えるような、墨の描写を主とした作品です。本展覧会では現存する《水郷めぐり》31図を一堂に公開し、およそ100年前の田園風景、美しい水辺の光景を紹介します。
- (3) およそ100年前、4人の日本画家、飛田周山、水上泰生、山内多門、勝田蕉琴が、水郷周辺を旅して描いた《水郷めぐり》連作31図を紹介します。
- (4) ときは大正6年5月、取手で下車した一行は、利根川下って水郷めぐり、さらに汽船で北浦へ……
4人の画家が旅して描いた連作《水郷めぐり》を公開

8 出品作品

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ・飛田周山 《嵐光水色 牛堀》《風雨泊舟 佐原》ほか | 計9点 |
| ・水上泰生 《新緑入江 十六島》《遠帆遠水 浮島》ほか | 計4点 |
| ・山内多門 《菖蒲咲くあたり 潮来》《北浦乃薪山 銚田》ほか | 計8点 |
| ・勝田蕉琴 《筑波遠望》《大洗松籟》ほか | 計10点 |
| (水郷めぐり) | 合計31点 |

9 会期中のイベント

すべてのイベントは事前の申込みが必要です。申込方法は次のいずれかの方法をお選びください。
ただし、イベントごとに選べる申込方法が異なりますのでご注意ください。

・ウェブによる申込フォーム

ホームページのURL、または各種チラシのQRコードを読み込み、必要事項を記入してください。

・往復はがき

①イベント名及び開催日、②申し込む方のお名前、③日中連絡のとれる電話番号、④メールアドレス(任意)を記載し、下の宛先までお送りください。

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
茨城県天心記念五浦美術館 ○○(△月◇日)係

・来館による申込み(総合受付または情報ライブラリー)

その場で申込書をご記入ください。

(1) 講演会「近世以前の鹿島と香取の風景」

- ・講師 : 薮政人(茨城県立歴史館学芸員)
- ・日時 : 3月18日[土] 13時30分～(約90分)
- ・会場 : 講堂(定員57名) 事前申込優先、先着順
- ・申込方法 : 申込フォーム、来館(総合受付)

※申込後のキャンセルほか、当日空席がある場合は申込なしで参加できます。

(2) 担当学芸員によるギャラリートーク

- ・日時 : 2月26日[日]、3月21日[火・祝] 各日13時30分～ (約30分)
- ・会場 : 展示室A 申込不要 ※要企画展チケット

(3) 映画会

200インチの大画面で懐かしの名作などを上映します。

2月12日[日] : 「黄金狂時代」(1925年/モノクロ/アメリカ)

3月12日[日] : 「コーラス」(2004年/カラー/フランス・スイス)

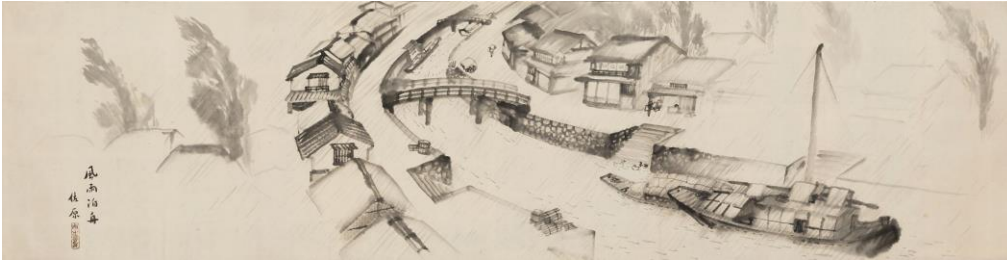
- ・各日午前10時～
 - ・会場 : 講堂
 - ・定員 : 57名 ※参加無料、要事前申込(先着順)
 - ・申込方法 : 申込フォーム、往復はがき、来館(情報ライブラリー)
- ※4月以降も毎月上映予定です。

10 感染症拡大防止について

当館では、感染症拡大予防として次のような取り組みを行っています。

- マスク着用のうえ美術館入口での検温および手指の消毒(消毒液は館内数か所に設置しています。)
- ソーシャルディスタンス確保のための展示室内に滞在する人数の制限
- イベント参加人数の制限、イベント参加者の把握(一部)

【広報用図版】 ※表紙の飛田周山《嵐光水色 牛堀》も提供可能です。



飛田周山
《風雨泊舟 佐原》
大正6年(1917)
個人蔵



山内多門
《菖蒲咲くあたり 潮来》
大正6年(1917)
個人蔵



水上泰生
《新緑入江 十六島》
大正6年(1917)
個人蔵



勝田蕉琴
《筑波遠望》
大正6年(1917)
個人蔵

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
 - ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
 - ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
 - ・図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



当館HPへ

【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083
TEL : 0293-46-5311 FAX : 0293-46-5711
E-mail : kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp
展覧会担当：井野 功一 / 広報担当：大津 友美
※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。